

シルバー

ごしき



2026年4月1日発行

《発行》公益社団法人 伊予市シルバー人材センター

所在地 伊予市灘町363番地 電話089(946)7377 FAX089(982)0035

URL <https://www.iyo-silver.or.jp/> Eメール iyo-sc@comet.ocn.ne.jp



(ふたみシーサイド公園の夕日)



次

理事長あいさつ……………	2
令和7年度定時総会……………	3
安全就業パトロール……………	4
シルバーの日奉仕活動……………	5
剪定・ガーデニング講習会……………	6
愛媛県連合会第15回定時総会……………	
剪定基礎講習会(県主催)……………	7
安全就業推進大会……………	8
自転車交通違反に青切符……………	9
熱中症に注意……………	
編集後記……………	10

理事長挨拶

会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、コロナ禍以降、地域活動や行事等の再開とともに、本市の事業活動にも回復の兆しがうかがえましたが、その後、高齢者雇用安定法や働き方改革関連法の本格施行と相まって、会員数や契約額は減少傾向をたどり、さらに、加速する少子高齢化等により、近年の労働環境は、90年代をピークに減少を続けている現役世代の人手不足は益々深刻なものにしております。



こうした状況のもと、今まさに高齢者が生涯現役で社会参加することが求められ、その高齢者の多様な社会参加・就労活動の受け皿としてシルバー人材センター事業は重要な役割を担うとともに、大きな期待が寄せられているところでございます。

当センターといたしましても、働く意欲のある高齢者の豊富な知識や能力・経験を活かし、生涯現役で活躍し続けられる社会環境を整え、新たな就業の機会を提供することで労働人口の拡大を図る必要があります。

そのためには、市をはじめとする関係機関との連携を図りながら、引き続き就業機会の確保・充実を推進するとともに、シルバー事業の核である会員拡大のために、積極的な広報や入会活動の工夫等により新規入会を促進し、会員の皆様や市民の方々の多様なニーズに合った就業機会の開拓や拡大に取り組むとともに、業務の効率化等により経営の安定化に努めてまいります。

また、本会への入会者年齢も上昇傾向で推移し、平均年齢も高齢化の一途をたどっております。会員の体力・筋力低下による事故の増加が懸念されますので、「安全はすべてに優先する」という基本を再確認して、受注及び就業形態の適正化や安全対策の徹底により、会員の皆様が安全に就業できる環境整備に努めます。

さらに、シルバー事業に影響をもたらしているインボイス制度やフリーランス新法などの制度に適正に対処していくため、受注見積基準や事務費率の見直しなどを通して必要な資金を確保するとともに、契約や通信手段のデジタル化を促進して業務の効率化と経費の削減を図る等、さらなる安定した事業運営に努める必要があります。

今後も、シルバー事業の基本理念のもと、高齢者の方々の生きがいと健康増進、社会の活性化に貢献するために、会員の皆様と共に地域に根差したシルバー事業を推進してまいりますので、なお一層のご尽力とご支援をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

令和7年度定時総会

令和7年度定時総会を令和7年6月26日(木)、伊予市総合保健福祉センターにおいて開催しました。

向井理事長の挨拶に続き、武智市長(代理：米湊市民福祉部長)、大野議長からご祝辞を賜りました。



式典終了後、総会議長に宮本余史生氏が選任され、下記のとおり報告1件及び議案2件の審議が行われ、満場一致で原案のとおり可決されました。

報告事項

報告第1号 令和7年度事業計画及び収支予算の報告について

議決事項

議案第1号 [令和6年度事業報告書・正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録]
(案)の承認について

議案第2号 役員(理事)の補欠選考承認について

安全就業パトロール

安全・適正就業委員会では、無事故を目指し、会員さんが実際に就業している現場のパトロールを年間6回実施しました。

パトロールでは、働く会員さんの安全保護具（ヘルメットや手袋等）の着用状態、脚立や草刈り機の手扱い状態、また暑さ対策状況等、複数の項目について聞き取り・チェックするとともに、必要に応じて就業指導を行うようにしています。



剪定作業



（個人宅）



（米湊聖集会所前公園）

除草・草刈作業



（個人農地）



（八倉墓地）

令和7年度においては、就業中の傷害事故、損害事故がそれぞれ1件発生しました。事故はちょっとした気のゆるみ、慣れにより発生します。慣れた作業だからと気を抜かず、また就業中のみならず、就業場所への往復途中においても「事故ゼロ」を目指していきましょう。

シルバーの日奉仕活動

全国シルバー人材センター事業協会では、毎年10月を「シルバー人材センター事業普及啓発月間」と定めて、地域社会にシルバー人材センターの社会的意義をアピールするため、全国的な普及啓発活動を実施しています。

それに合わせて当センターでも、令和7年10月4日(土)に、会員及び役員等42名が参加し、市民の憩いの場である五色浜公園(旧五色浜灯台付近)及び海岸の除草・清掃・剪定作業の奉仕活動を実施しました。



今回は今にも雨が降りそうな空模様でしたが、参加者のやる気あふれる姿に促されて、最後まで作業することができました。

毎年この時期に活動をしていますので、多数の皆さんの参加をお願いします。



植木の剪定講習会

令和8年2月5日(休)植木の剪定講習会を宇和島市で開催し、会員11名が受講しました。

(有)横山緑化センター代表取締役 横山久馬二氏による講義を受けた後、実技指導が行われ、受講者は昨年剪定した植木の状態を確認するなど、剪定の技能向上のため熱心に取り組んでいました。



ガーデニング講習会

令和8年2月19日(休)シルバー人材センターにおいて、愛媛バラ会顧問等として活躍されている甘井清久氏を講師にお迎えしてガーデニング講習会を開催しました。講習会には会員20名が参加し、季節に合わせた寄せ植えの方法などの実技指導を受けるとともに、会員相互の親睦を深めていました。



愛媛県連合会 第15回定時総会

令和7年6月24日(火)公益社団法人愛媛県シルバー人材センター連合会第15回定時総会がリジェール松山(松山市)で開催されました。

高橋理事長が議長に選任され、審議の結果、令和6年度事業報告(案)や新理事の選任等、すべての議案について原案どおり可決されました。



剪定基礎講習会（県連合会主催）

令和8年2月17日(火)・18日(水)の両日、愛媛県シルバー人材センター連合会主催高齢者活躍人材確保育成事業として、剪定基礎講習会が、伊予市シルバー人材センターにおいて開催されました。講師に二宮靖智氏(有関西造園専務取締役)をお迎えし、伊予市・松前町・砥部町から10名の方が参加し、2日間にわたり講義や実技指導に熱心に取り組みました。



この基礎講習会は、令和8年度も11月中旬に実施を予定しております。時期がきましたら、市の広報紙や新聞チラシでお知らせしますので、しばらく就業していない方、職種の変更を希望する方はお気軽に受講してみてください。

また、お知り合いにシルバー人材センターへの入会に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ受講をお勧めしてください。

令和7年度安全就業推進大会

令和7年度安全就業推進大会が令和8年2月20日(金)リジェール松山で開催され、安全就業優良表彰、安全就業スローガン表彰、講演等が行われました。

当センターから、「個人部門表彰」において、松田重富さんが表彰されました。

また、「途上事故無事故センター表彰」を5年連続で受賞することができました。



(松田重富さん)

令和7年度安全就業スローガン

最優秀賞	思い込み 確認不足が 事故招く (新居浜市)
優秀作	もうちょっと あせる心が 事故をよぶ 慣れた作業に落とし穴 指差し呼称で安全確認 (松山市) (松山市)
佳作	「これぐらい」 少しの油断が 事故を呼ぶ もう少し 無理とあせりは 事故のもと 大丈夫 あなどる気持ちが 事故の元 あわてずに 慣れた仕事も 一歩ずつ 慣れた作業に 隠れたリスク 油断と過信は事故招く (八幡浜市) (西条市) (久万高原町) (宇和島市) (新居浜市)

最優秀作品は、「のぼり」になり当センター入口に掲示しています。

選ばれた作品を読んでもみるとそれぞれにハッと心に思い当たる節があるのではないのでしょうか？頭の片隅に入れておき、作業中に思い起こすなど、安全就業に役立ててください。

また毎年9月にスローガン募集のご案内をいたしますので、皆さんふるってご応募ください。



令和8年4月1日より 自転車^の違反に「青切符」導入

増加する自転車の交通事故抑止を図るため、16歳以上を対象に青切符（交通反則通告制度）が導入されます。対象となる違反は113種類に及びますが、自転車に関する交通ルールが変わるわけではありません。今まで取り締まり対象でなかっただけです。

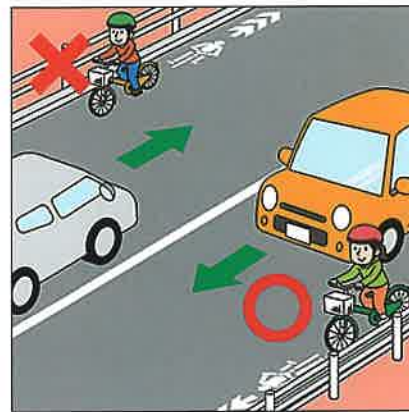
主な反則金の対象



一時不停止



信号無視



通行区分違反（逆走）

基本的には、現場で指導警告が行われます。ただし、その違反が交通事故の原因となるような危険性・迷惑性が高い悪質・危険な違反の場合は検挙の対象となります。

自転車側だけではありません

自動車で自転車の右側を通過するときは、できるだけ間隔を開けましょう。**少なくとも1メートル程度間隔を空ける**ことが必要です。

自転車と**1メートル程度の間隔を確保できない場合**には、**時速20キロメートルから30キロメートル程度で運転**しましょう。

違反すると、検挙の対象となります。

同じ道路を使用する者同士に車両による上下はありません。

お互いを尊重し合いながら、交通安全に努めましょう。



熱中症に注意（今年も暑くなりそうです）

幸い、伊予市シルバー人材センターにおいては、病気、熱中症による就労中の死亡事故は発生していません。しかしながら、全国シルバー人材センター事業協会によると、全国では複数発生しているそうです。その中には、単独作業で体調の急変に誰も気づけず、長時間発見されないままお亡くなりになったケースもあり、ご本人やご家族のことを思うと、痛切な思いに堪えません。

今年も暑くなりそうです。このような悲しい事故をなくすためには、まずご自身の体調管理を徹底していただくことが重要です。就業中の仲間同士で声を掛け合い、互いの体調を気にかけることは欠かせません。さらに、単独での作業中に体調がすぐれないと感じた場合には、症状が悪化する前に周囲の方へ声を掛ける、センターやご家族に連絡するなど、必ず周囲に助けを求めてください。命に代えられるものではありません。どうかご自身の体調を第一に考えた行動を心がけてください。

- 体調がすぐれない時は休む勇気を持つ！
- 一人で就業させない！ 共働共助～チームで動いて、お互いを支えるワークスタイルへ～
- 自分の身体が最優先！！ 健康あっての生きがい就業！！

公益社団法人
伊予市シルバー人材センター

伊予市灘町363番地
電話089(946)7377 FAX089(982)0035



編集後記

会員の皆さまのご支援により今年も「シルバーごしき」を発行することができました。これからも皆様に親しまれる機関誌として、センターの活動情報を発信してまいりたいと思います。

定年延長のせいか、会員の加入が減少し続けています。特に60代の方、女性の方の入会が少ないのが現状です。会の運営を永続的なものにするためにも、会員一人ひとりが熱意をもって勧誘していただきますようお願いいたします。